

## 事業終了時の写真

### ケニア共和国「マシガ準郡子どもの健康と安全を保障する学校地域社会の改善事業(3年次)」 (特活)アフリカ地域開発市民の会



本事業3年間で保護者による3教室補修ののち、1教室の自立的補修、さらに1教室の建設が上部壁まですすんでいた。  
(ミアンゲニ小学校:2018年2月15日撮影)



保護者が、本事業の教室補修で学んだ知識と技能を活用して、自立的に建設したトイレ。  
(上:カオニョエニ小学校:2018年2月13日撮影)  
(左:イシュコニ小学校:2018年2月8日撮影)



育成したムシギニCHVが、大人が協働して、子どもの早期妊娠予防に取り組むために、子どもの成長と身体・感情の変化、性交渉につながる社会状況、エイズなどについて住民に教える学習会を開催した。  
(ムシギニ準地区カルンドウ村:2017年11月2日撮影)



保護者でもあるCHVが、保護者仲間へ乾燥野菜学習会を実施し、食品栄養や栄養バランスの取れた食事の重要性、学校給食に乾燥野菜を取り入れる意義、乾燥野菜の作り方を実演・実習した。  
左は、本事業で補修した教室で、野菜を乾燥させているところ。  
(ムカメニ小学校:2018年2月8日撮影)



準郡保健局で、各CHV候補の研修参加状況などを確認し、追加研修を協議した。また、CHVを指導する保健局スタッフである地域保健普及官(CHEW)の知識・認識の不足を当会に告知し、復習研修の協働実施に合意した。  
(マシガ準郡保健局:2018年1月31日撮影)



CHVを支えるCHEWは、看護官・保健官が兼任している。保健局幹部スタッフが、新任の保健行政官へのCHEW研修を行ない、CHVを指導し協働する包括的知識と心構えを相互に学ぶ機会となった。  
(ヤッタ準郡マトウ町私立研修施設:2018年2月12日撮影)